

□主な内容

【EST 普及推進フォーラムの開催結果 及び EST 交通環境大賞ダイジェストの公表】

EST 普及推進委員会 及び エコモ財団は、第 8 回 EST 普及推進フォーラムの開催結果と第 6 回 EST 交通環境大賞のダイジェストを EST ポータルサイトに掲載しました。

http://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka9.html

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014_02.html

【第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(藤沢)の開催予定】

EST 普及推進委員会、エコモ財団 及び 関東運輸局は、10 月 28 日(水)～30 日(金)の3日間、藤沢市において研修会を開催する予定です。

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 105 回)

●「イオン渋滞対策に成功した岡山」

【NPO 法人公共の交通ラクダ 会長 岡 将男】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 105 回)

●「みちのりホールディングスの交通・環境政策に関わる取り組み」

【株式会社みちのりホールディングス 代表取締役 松本 順】

3. ニュース／トピック

●第 8 回 EST 普及推進フォーラムの開催結果及び第 6 回 EST 交通環境大賞ダイジェストの公表について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

●平成 25 年度の温室効果ガス排出量(確報値)について【環境省】

●カーボン・オフセット宣言の運用開始について【環境省】

●平成 27 年度「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業モデル地域の選定結果について【環境省】

●北海道における「地域の足」確保キャンペーン(エコ通勤から始めよう)の結果報告について【北海道運輸局】

●平成 27 年度東北運輸局交通環境対策アクションプランの策定について【東北運輸局】

●平成 27 年度交通・観光カーボンオフセットモデル事業の募集開始について【エコモ財団】

●運輸部門における地球温暖化対策啓発ビデオについて【エコモ財団】

●「まちだエコドライブガイド」の制作について【町田市】

●東芝初の商用 EV バスの運転開始について【株式会社東芝】

- 奈良県飛鳥地方での超小型モビリティレンタルサービス事業「MICHIMO」の開始について【一般財団法人明日香村地域振興公社、ソフトバンクモバイル株式会社】
- 国内自動車製造業で初めてのエネルギーマネジメント規格「ISO50001」の取得について【トヨタ自動車株式会社】
- 電気自動車を対象とした有料道路無料化の取組みについて【株式会社白糸ハイランドウェイ】
- 2013 年型自動車の GHG 排出基準の達成について【アメリカ環境保護庁】

4. イベント情報

- レールバスと遊ぼう 2015【2015/5/3-5】
- エコ&セーフティ神戸カーライフ・フェスタ 2015【2015/5/16-17】
- 京都スマートシティエキスポ 2015【2015/5/20-5-22】
- モビリティウィーク&カーフリーデー2014 報告会 &2015 説明会【2015/5/29】
- 乗用車のエコドライブ講習認定取得のためのインストラクター養成教習会【2015/6/6】
- エコライフ・フェア 2015【2015/6/6-7】
- 第 10 回日本モビリティ・マネジメント会議【2015/7/24-25】
- 第 22 回 ITS 世界会議ボルドー2015【2015/10/5-9】
- 第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2015/10/28-30】
- 第 13 回 ITS シンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクツ 2015(第 17 回)【2015/12/10-12】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 105 回)

●「イオン渋滞対策に成功した岡山」

【NPO 法人公共の交通ラクダ 会長 岡 将男】

昨年末、岡山駅前には巨大なイオンモールが建設され、都心 3km 四方が大渋滞になるのではと心配されました。しかし開店半年近くになる現在も大渋滞は生じていません。土日 10 万人もが押し寄せていても、渋滞がないのですから、渋滞対策に成功したといえるのではないのでしょうか。成功している原因は以下の通りです。

1. 県警の渋滞予測が的確で早くから渋滞問題を指摘していた
2. イオンモールの駐車料金が適切な設定で、店舗内の誘導システムも成功した
3. 北長瀬・青江駐車場のパークアンドライド、JR やバスとの組み合わせが成功した
4. JR が 8 方面に延び、バスルートも充実している岡山駅の交通結節点能力が最大限に発揮された
5. 県庁通り交通実験断念報道など、イオン渋滞の懸念が、アナウンス効果をもたらした
6. 岡山市が公共交通重視の政策を打ち出した
7. 市民が情報を元に、的確に判断して行動した

驚いたのは、「岡山では自動車なしでは生活できない」と思っている市民が、絶妙のバランスで自動車と公共交通を使い分けている事です。今議論が本格化したコンパクトシティや本格的高齢化社会に向けて、自動車に過度に依存しない社会が、実現してしまっているのです。市民は、情報を十分に与えれば、賢く行動することを証明してしまったのですから、これこそ素晴らしい社会実験だったと言えます。

RACDA では、人と環境にやさしい路面電車導入時の渋滞対策のため、東大の吉村研究室に協力して、岡山市をモデルに交通流シミュレーターMATES を開発してきました。イオン渋滞対策では、その MATES は岡山県警が吉村研究室から提供を受け、大いに活躍したのです。環境にやさしい交通をめざす取り組みが、実地に活かされた事例だと思います。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 105 回)

●「みちのりホールディングスの交通・環境政策に関わる取り組み」

【株式会社みちのりホールディングス 代表取締役 松本 順】

みちのりグループは、岩手県北自動車・福島交通・会津乗合自動車・関東自動車・茨城交通の 5 社で構成され、「交通ネットワーク、観光、環境」を事業テーマとして、交通事業(乗合バス、高速バス、鉄道、タクシー)、観光事業(貸切バス、観光船、ホテル、旅行)等を展開しています。持続的な公共交通ネットワークの確保・維持を目指して様々な取り組みを行っていますが、今回は乗合バスの利用促進方策として、IC カードを活用した独自のサービスと、「路線バスの旅」について紹介させていただきます。

(1)IC カードの導入・活用

福島交通では、2010 年 10 月に東北地方で初めて IC カード「NORUGA(ノルカ)」を導入しました。エコ通勤の促進を目指したグリーン定期券(企業・団体向けの最大 50%の段階型割引定期)や、通勤定期券所持者と家族に対する休日 100 円サービス等、地域限定カードとしての利点を活かし、各種の利用促進策を実施しています。NORUGA の流通枚数は 8 万枚を超え、グリーン定期券の年間販売額は IC カード導入前と比較して 3 年間で約 40%増収しており、エコ通勤の推進に貢献しています。

また、高齢者の積極的な社会参加の支援と公共交通の利用促進を図るために、福島市の「ももりんシルバーパスポート事業」に協力しています。福島市が、市内在住の 75 歳以上の方を対象に IC カード「ももりんシルバーパスポート」を交付し、市内の路線バスの運賃を無料(平成 27 年 4 月 1 日から鉄道・福島交通飯坂線も対象)とする事業です。導入以前と比較して、1 日当たりの利用者数は約 74%増加しており、高齢者の社会参加を支えています。

今後は、茨城交通においても、平成 28 年 3 月までに IC カードを導入する予定です。

(2)「路線バスの旅」のご提案

観光における路線バスの利用を促進するために「路線バスの旅」と称して、地域の魅力を堪能いただける様々なコースを設定し、路線バス・高速バスに乗車する観光客を増加させる取り組みを行っています。バスの往復乗車券と沿線施設の入場料や拝観料、特典クーポン等をセット販売することで、生活路線と観光路線を一体化し、路線バスの利用者(運賃収入)増加と域内ネットワークの活性化を目指しています。

一例をご紹介しますと、会津乗合自動車では「喜多方周遊乗車券」として、会津若松市～喜多方市間の路線バス往復乗車券とラーメン店等のクーポン特典をセットにして販売しています。また、関東自動車では、「大谷観光一日乗車券」として、宇都宮駅から大谷石の産地として有名な大谷地区までの一日乗車券と資料館の入場料などをセットで販売し、9 ヶ月間で 4,000 枚を売り上げるなど、大変ご好評をいただいております。

今後も「みちのりグループ」として、「縦串と横串の両輪での経営支援」と「広域連携効果（ベストプラクティスの横展開）」という特徴の下に、新しい取り組みを实践し、環境に配慮しながら公共交通の維持と拡充という責務を果たしてまいります。同時に、地域の観光産業の牽引役となるよう、地域の特性や魅力を活かしたご提案をしていきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください。

3. ニュース／トピック

●第8回 EST 普及推進フォーラムの開催結果及び第6回 EST 交通環境大賞ダイジェストの公表について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会 及び エコモ財団は、第8回 EST 普及推進フォーラムの開催結果と第6回 EST 交通環境大賞に受賞した取り組みの内容、表彰式の様子、講評等をまとめた資料(ダイジェスト)を EST ポータルサイトに掲載しました。

http://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka9.html

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014_02.html

●平成 25 年度の温室効果ガス排出量(確報値)について【環境省】

環境省と国立環境研究所は、2013 年度の我が国の温室効果ガス排出量(確報値)をとりまとめました。平成 25 年度の温室効果ガスの総排出量は 14 億 800 万トン(二酸化炭素(CO₂)換算)で、前年度比 1.2%増(2005 年度比 0.8%増、1990 年度比 10.8%増)でした。

<http://www.env.go.jp/press/100862.html>

●カーボン・オフセット宣言の運用開始について【環境省】

環境省では、カーボン・オフセットの取組の透明性・信頼性の向上や、個別の取組内容の PR を目的として、個別のカーボン・オフセットの取組内容を、社会全体に幅広く情報提供することを支援する「カーボン・オフセット宣言」の運用を開始しました。本宣言では、取組内容を実施者により情報提供(自己宣言)いただき、それらの内容をウェブサイトで公表します。

<http://www.env.go.jp/press/100719.html>

●平成 27 年度低炭素化に向けた公共交通利用転換事業に係る補助事業者の募集の採択結果について【環境省】

環境省では、平成 27 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素化に向けた公共交通利用転換事業)に係る補助事業者の募集について、3 件の応募があり、厳正な審査の結果、神奈川県藤沢市、近江鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社の 3 件全てを採択しました。

<http://www.env.go.jp/press/100852.html>

●北海道における「地域の足」確保キャンペーン(エコ通勤から始めよう)の結果報告について【北海道運輸局】

北海道運輸局では、平成 24 年から、通勤時における環境にも優しい公共交通の利用を進める「北海道における『地域の足』確保キャンペーン(エコ通勤から始めよう)」を実施しており、この度、平成 26 年度のキャンペーンの結果を公表しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/2703/270326.pdf>

●平成 27 年度東北運輸局交通環境対策アクションプランの策定について【東北運輸局】
東北運輸局では、各年度における交通環境対策の具体的な取り組みを明らかにし、これら交通に係る環境問題の解決を図ることを目的として、平成 27 年度の「東北運輸局交通環境対策アクションプラン」を策定しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-sub11.html>

●平成 27 年度交通・観光カーボンオフセットモデル事業の募集開始について【エコモ財団】
エコモ財団では、交通・観光分野でのカーボンオフセットの普及促進を図るため、事業者が自社商品・サービスにカーボンオフセットを導入する際の負担を軽減し、CO2 排出量の算定や排出権の購入をウェブ上で可能にする「交通・観光カーボンオフセット支援システム」を平成 21 年度に構築し、運用しています。本事業では、交通・観光カーボンオフセット支援システムを用いた、カーボンオフセットの取組みに関する事業計画で、他の交通・観光事業者のモデルとなり得るものを募集します。

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/20150402.html

●運輸部門における地球温暖化対策啓発ビデオについて【エコモ財団】

エコモ財団は、地球温暖化問題の現状とその対策について、最新のデータや取組みについて取りまとめた普及啓発用ビデオを作成しました。貸し出しをしていますので、貸出を希望される方は以下のウェブページをご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/environment/DVD/DVD_top.html

●「まちだエコドライブガイド」の制作について【町田市】

町田市では、玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科と連携し、エコドライブ啓発リーフレット「まちだエコドライブガイド」を制作しました。このガイドは、町田市エコキャラクター「ハスのん」が市内のおでかけスポットをドライブしながら、エコドライブの 10 個の心得を紹介しています。裏面は、市内の観光スポット等を紹介する「まちだおでかけガイド」になっています。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/setudenshoene/ondanka/doecodrive.html>

●東芝初の商用 EV バスの運転開始について【株式会社東芝】

株式会社東芝では、川崎鶴見臨港バス株式会社川崎病院線において東芝初の商用 EV バスの運転を 4 月 1 日から開始しました。EV バスには、東芝社製リチウムイオン二次電池「SCiBTM」を搭載しており、ディーゼルバスと比較して 1 日あたり約 40%の CO2 を削減できます。

http://www.toshiba.co.jp/about/press/2015_03/pr_j3004.htm

●奈良県飛鳥地方での超小型モビリティレンタルサービス事業「MICHIMO」の開始について【一般財団法人明日香村地域振興公社、ソフトバンクモバイル株式会社】

一般財団法人明日香村地域振興公社は、ソフトバンクモバイル株式会社と協力し、超小型モビリティのレンタルサービス「MICHIMO(ミチモ)」を2015年4月17日に開始しました。「MICHIMO」は、飛鳥地方を訪れる観光客向けに、タブレットを搭載した超小型モビリティを貸し出しするサービスで、2014年10月にプレオープンしました。このたびのグランドオープンに合わせ、超小型モビリティの充電を全て奈良県内の太陽光発電による電力に変更するとともに、超小型モビリティの台数を現在の2倍以上の17台に増やします。

http://www.softbank.jp/corp/group/sbm/news/press/2015/20150407_01/

●国内自動車製造業で初めてのエネルギーマネジメント規格「ISO50001」の取得について【トヨタ自動車株式会社】

トヨタ自動車株式会社では、継続的なエネルギー消費低減へ向けた取り組みの一環として、エネルギーマネジメントの国際規格「ISO50001」を日本国内の自動車製造業として初めて取得しました。「ISO50001」は、国際標準化機構(ISO)がエネルギーマネジメントに必要な要求事項を定めた国際標準規格であり、環境マネジメントシステム(ISO14001)と同様に、PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルをシステムの軸としたエネルギー管理体制を構築・運用することで、継続的なエネルギーパフォーマンスの改善を目指すことを目的に制定されたもので、近年では、地球温暖化対策に関する国際的な検証の枠組みのひとつとしても期待されています。

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/7331246/>

●電気自動車を対象とした有料道路無料化の取組みについて【株式会社白糸ハイランドウェイ】

株式会社白糸ハイランドウェイでは、軽井沢の一般有料道路「白糸ハイランドウェイ」を、平成27年4月23日～平成28年3月31日の間、期間限定で電気自動車に限り無料化することを発表しました。「白糸ハイランドウェイ」は昭和38年開通の延長10kmの有料道路です。軽井沢の美しい森林資源の保護のため、環境にやさしい電気自動車の普及を後押ししていく全国で初めての試みとなります。

<http://karuizawa-shw.jugem.jp/?eid=213>

●2013年型自動車の温室効果ガス排出基準の達成について【アメリカ環境保護庁】

アメリカ環境保護庁(EPA)は、国内の自動車産業各社が、前年に続き国の温室効果ガス排出基準を大幅な余裕をもって達成したと発表しました。これは、今年で2年目となる年次報告書「小型車温室効果ガス排出基準:2013年型車の製造者実績報告書」で明らかにしたもので、自動車産業全体では、2013年型車の排出性能は12グラム/マイルを実現しました。

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/b4e304d25177969f85257e1400484bf8!OpenDocument>

4. イベント情報

●レールバスと遊ぼう 2015

日時: (1 日目) 2015 年 5 月 3 日(土) 12:00~15:00
(2 日目) 2015 年 5 月 4 日(日) 10:00~15:00
(3 日目) 2015 年 5 月 5 日(月) 10:00~15:00

場所: 南部縦貫鉄道旧七戸駅

主催: 七戸町観光協会、南部縦貫レールバス愛好会

<http://www.ogaemon.com/r-bus/2015iv.htm>

●エコ&セーフティ神戸カーライフ・フェスタ 2015

日時: (1 日目) 2015 年 5 月 16 日(土) 11:00~17:00
(2 日目) 2015 年 5 月 17 日(日) 10:00~17:00

場所: 神戸メリケンパーク

主催: 環境省、神戸市、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

<http://www.env.go.jp/press/100805.html>

●京都スマートシティエキスポ 2015

日時: (1 日目) 2015 年 5 月 20 日(水) 10:00~18:00
(2 日目) 2015 年 5 月 21 日(木) 9:30~17:30
(3 日目) 2015 年 5 月 22 日(金) 10:00~16:00

場所: 国立京都国際会館、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ほか

主催: 京都スマートエキスポ運営協議会

<http://www.kyoto-smartcity.com/index.html>

●モビリティウィーク&カーフリーデー2014 報告会 & 2015 説明会

日時: 2015 年 5 月 29 日(金) 18:00~20:00

場所: JICA 地球広場・セミナールーム 201AB

主催: 一般社団法人カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/88f8e9a27c277882f652dbeb58d2463b>

●乗用車のエコドライブ講習認定取得のためのインストラクター養成教習会

日時: 2015 年 6 月 6 日(土) 9:30~18:00

場所: 一般財団法人 省エネルギーセンター 4 階 第一会議室

主催: エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/instructor_training_course-mousikomisyo15.06.06.pdf

●エコライフ・フェア 2015

日時:(1日目)2015年6月6日(土)11:00~17:00

(2日目)2015年6月7日(日)10:00~17:00

場所:代々木公園

主催:環境省

<http://www.ecolifefair.go.jp/>

●第10回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2015年7月24日(金)、25日(土)

場所:東洋大学 白山キャンパス

主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

●第22回 ITS 世界会議ボルドー2015

日時:2015年10月5日(月)~9日(金)

場所:Congre et Expositions de Bordeaux

主催:TOPOS

<http://itsworldcongress.com/>

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/bordeaux_2015/

●第5回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時:2015年10月28日(水)~30日(金)

場所:藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール1ほか

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、関東運輸局

※参考:第4回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山)

<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>

●第13回 ITS シンポジウム 2015

日時:2015年12月3日(木)、4日(金)

場所:首都大学東京

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/

●エコプロダクツ 2015(第17回)

日時:(1日目)2015年12月10日(木)10:00~18:00

(2日目)2015年12月11日(金)10:00~18:00

(3日目)2015年12月12日(土)10:00~17:00

場所: 東京ビッグサイト 東ホール

主催: 一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2015/>

5. その他

- EST パートナiership会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>